



2023年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月12日

上場会社名 株式会社AVANTIA
コード番号 8904 URL <https://avantia-g.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年1月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-859-0034

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日～2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	10,195	11.3	59		66		32	
2022年8月期第1四半期	9,160	32.4	256		200		178	

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 21百万円 (%) 2022年8月期第1四半期 222百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	2.26	
2022年8月期第1四半期	12.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	60,334	26,632	44.1
2022年8月期	60,683	26,887	44.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 26,632百万円 2022年8月期 26,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		19.00		19.00	38.00
2023年8月期					
2023年8月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	20.8	600	259.0	600	168.9	400	297.3	28.04
通期	62,000	5.5	1,900	18.3	1,900	21.5	1,300	30.5	91.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期1Q	14,884,300 株	2022年8月期	14,884,300 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年8月期1Q	620,455 株	2022年8月期	620,455 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年8月期1Q	14,263,845 株	2022年8月期1Q	14,235,145 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. (参考) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立により正常化が進む中、緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引締め等を背景とした海外経済の下振れ、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要があるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当住宅・不動産業界におきましては、戸建住宅に対する需要には底堅さを感じながらも、住宅価格の上昇に加え、相次ぐ生活必需品やエネルギーコストの上昇等により、消費者の住宅取得に対するマインドには陰りが見え始めており、事業環境の厳しさは強まる状況となっております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は101億95百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は59百万円（前年同期は2億56百万円の営業損失）、経常利益は66百万円（前年同期は2億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（前年同期は1億78百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

当社グループのコア事業である戸建住宅事業は、支店展開による地域密着型の営業活動の強みを活かしながら、コアエリアである愛知県の深耕、ドリームホームグループのグループ化による関西圏の強化及び三重県ではグループ3社で安定供給基盤を構築するなど、重点強化地域の成長を図りました。また、さらなる収益基盤を求め、首都圏及び九州の地域への進出など事業拡大を推し進めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は75億49百万円（前年同期比8.3%増）、営業損失は2億13百万円（前年同期は4億17百万円の営業損失）となりました。

(マンション事業)

マンション事業は、当社子会社であるサンヨーベストホーム株式会社が実需向けのマンションを、ファミリー層を含めた多様な客層をターゲットにし、また、名古屋市内の都市型の物件から利便性の良い郊外型の物件まで幅広い立地にマンションブランド「サンクレア」を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1億24百万円（前年同期比72.0%減）、営業損失は76百万円（前年同期は21百万円の営業損失）となりました。

(一般請負工事業)

一般請負工事業は、当社子会社であるジェイテクノ株式会社、株式会社巨勢工務店、株式会社宇戸平工務店の3社がそれぞれの地域の老舗工務店として、公共事業や民間工事での実績や高い技術力を活かし、当社グループの戸建住宅やマンション施工等、様々なシナジーを発揮しながら業容を拡大しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は12億21百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は48百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、戸建住宅において周辺事業である不動産仲介事業、リフォーム事業、リノベーション事業などがあります。当社グループは不動産に関する様々な事業を展開し、「総合不動産サービス企業」を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は13億円（前年同期比137.0%増）、営業利益は2億37百万円（前年同期比82.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億48百万円減少し603億34百万円となりました。主な要因は、現金預金の減少44億68百万円、棚卸資産の増加44億43百万円、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産の増加2億72百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し337億2百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少18億34百万円、支払手形・工事未払金等の減少8億95百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加23億50百万円、未払法人税等の減少1億68百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し266億32百万円となりました。主な要因は、配当金の支払2億71百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で2022年10月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の様々な要因によって変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,792,559	9,324,288
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	1,615,504	1,888,060
販売用不動産	9,458,472	12,584,690
開発事業等支出金	24,242,458	25,033,620
未成工事支出金	4,209,562	4,737,013
材料貯蔵品	15,913	14,735
その他	610,323	571,166
貸倒引当金	△882	△306
流動資産合計	53,943,911	54,153,268
固定資産		
有形固定資産	4,562,532	4,018,231
無形固定資産		
のれん	636,390	614,820
その他	111,555	108,786
無形固定資産合計	747,945	723,606
投資その他の資産		
投資有価証券	429,096	391,935
その他	1,000,075	1,047,520
投資その他の資産合計	1,429,171	1,439,456
固定資産合計	6,739,650	6,181,295
資産合計	60,683,562	60,334,563
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,709,920	1,814,186
短期借入金	19,472,703	17,638,218
1年内返済予定の長期借入金	4,325,611	3,904,612
未払法人税等	431,409	262,502
契約負債	1,261,087	1,851,375
賞与引当金	124,580	223,888
完成工事補償引当金	18,694	11,784
その他	1,108,603	1,055,580
流動負債合計	29,452,609	26,762,148
固定負債		
長期借入金	3,639,845	6,411,268
退職給付に係る負債	281,712	-
その他	422,360	528,845
固定負債合計	4,343,918	6,940,114
負債合計	33,796,528	33,702,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,732,673	3,732,673
資本剰余金	2,978,249	2,978,249
利益剰余金	20,732,264	20,488,552
自己株式	△575,443	△575,443
株主資本合計	26,867,743	26,624,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,289	8,269
その他の包括利益累計額合計	19,289	8,269
純資産合計	26,887,033	26,632,301
負債純資産合計	60,683,562	60,334,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	9,160,179	10,195,722
売上原価	7,811,128	8,548,890
売上総利益	1,349,051	1,646,831
販売費及び一般管理費	1,605,875	1,587,189
営業利益又は営業損失(△)	△256,824	59,642
営業外収益		
受取利息	196	111
受取配当金	330	377
受取事務手数料	17,166	28,812
不動産取得税還付金	32,469	23,783
その他	40,718	29,471
営業外収益合計	90,881	82,554
営業外費用		
支払利息	14,818	45,409
シンジケートローン手数料	-	27,850
その他	19,897	2,647
営業外費用合計	34,716	75,907
経常利益又は経常損失(△)	△200,659	66,289
特別利益		
固定資産売却益	14	-
資産除去債務戻入益	-	823
特別利益合計	14	823
特別損失		
固定資産売却損	29,966	-
固定資産除却損	134	258
特別損失合計	30,100	258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△230,744	66,854
法人税等	△52,669	34,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,075	32,246
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,075	32,246

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,075	32,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,590	△11,020
その他の包括利益合計	△44,590	△11,020
四半期包括利益	△222,666	21,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,666	21,225
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. (参考) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間における生産、受注及び販売の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

①生産実績

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	10,375,989	99.4
マンション事業	185,890	32.5
一般請負工事業	1,592,256	93.0
その他の事業	815,517	180.4
合計	12,969,654	98.4

②受注実績

受注高

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	10,157,007	103.5
マンション事業	1,381,778	94.6
一般請負工事業	994,534	53.5
その他の事業	1,352,279	192.6
合計	13,885,598	100.3

受注残高

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	13,142,929	63.6
マンション事業	1,292,032	103.4
一般請負工事業	2,452,167	81.1
その他の事業	579,379	140.8
合計	17,466,508	68.9

③販売実績

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	7,549,731	108.3
マンション事業	124,248	28.0
一般請負工事業	1,221,191	102.1
その他の事業	1,300,550	237.0
合計	10,195,722	111.3